

信州大学サポーターズクラブメルマガ第 105 号 2022 年 04 月 28 日

信州大学サポーターズクラブ

メ | ー | ル | マ | ガ | ジ | ン | 第 105 号 |

信州大学サポーターズクラブ事務局

2022 年 04 月 28 日

..... 毎月月末に配信しています

【 I N D E X 】

信大からのお知らせ

信大のコレ紹介します

信州再発見

□■信大からのお知らせ

『信大検定』にチャレンジしよう！

規模が大きく歴史のある信州大学のことを、皆様はどれくらいご存知ですか？附属図書館と大学史資料センターは、信州大学に関する知識を楽しみながら深めることを目的に「信大検定」を公開しています。

「信大検定」の問題は、信州大学にまつわるエピソードやデータの中から幅広く出題しています。解説にも様々な情報が盛り込まれていますので、楽しんで信州大学のことを知ることができます。初級編の所要時間は約 5 分、多くの方に知っていただきたい問題を 10 問集めました。

今後、より難しいレベルも追加予定です。ぜひとも、サポーターズクラブの皆様もチャレンジしてみてください。

○詳細はこちら

<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/ShindaiKentei.html>

□■信大のコレ紹介します

をご紹介します！



繊維学部の『疾走するファイバー展』では、最先端のファイバーテクノロジーを学べる施設を展開しています。展示室は「循環型社会」、「ナノテクノロジー」、「バイオミミクリー」、「機能・快適性」、「極限環境」、「スマートテキスタイル」の6つのカテゴリーに分けられており、来場者の方々はこれらのカテゴリーに関する研究成果の解説パネルを読むだけでなく、展示されている資料に実際に触れて、体験して学ぶことができます。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。

□■信州再発見

松本キャンパスのここの「桜」知ってますか？



今号では、松本キャンパス内で見られる桜を、いつもより写真多めでご紹介します。

○詳細は次ページ以降をご覧ください。



メルマガのバックナンバーはこちらから

<http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/mail/>

『信州大学サポーターズクラブメールマガジン』

編集・発行/信州大学サポーターズクラブ事務局

長野県松本市旭 3-1-1

+**+ **+

【 Mail 】 koyukai@shinshu-u.ac.jp

【 H P 】 <http://koyukai.shinshu-u.ac.jp/>

【 F B 】 <https://www.facebook.com/shindai.koyukai>



2022.04.28



信州大学サポーターズクラブ【信大のコレ紹介します】第105号

—今回も前回に引き続き、繊維学部「疾走するファイバー展」をご紹介します。

Q1) 疾走するファイバー展について教えてください。

A) 疾走するファイバー展は、最先端のファイバーテクノロジーを多くの方に体験していただけるよう一般社団法人繊維学会と日本科学未来館が行った企画展示を2010年に信州大学繊維学部が譲り受け、上田キャンパス内に設置されました。その後、一般社団法人繊維学会、日本化学繊維協会と合同で、繊維科学および繊維産業の未来を見据えた展示室として2018年7月1日にリニューアルし、現在に至っています。約85平方メートルの展示室では、繊維を6つのカテゴリー「循環型社会」、「ナノテクノロジー」、「バイオミクリー」、「機能・快適性」、「極限環境」、「スマートテキスタイル」に分けてコーナーが配置され、約70点の展示品、さらに多数のパネル展示によって、現在・未来の繊維を体験し、学べる場所となっています。



【疾走するファイバー展の会場の様子】

Q2) 疾走するファイバー展のコンセプトを教えてください。

A) この展示室のコンセプトは、『繊維技術の面白さ、ユニークさを実際に触れて、体験しながら学べる場所』です。一般の方は、『繊維製品』とか『繊維技術』と言われても漠然としていて分からない、そもそも「『繊維』って何だろう?」と感じると思います。来館者の方が、展示品に実際に触れながら、身近にある繊維製品の開発技術の背景には何があるのかを学び、また、身近にある「繊維」は、最先端の技術、製品などにも利用されている、ということを知ってもらえる場所となっています。

Q3) どんな方が見学に来るのですか?

A) 主にターゲットとしているのは小中高校生ですが、県内外から高校生がキャンパス見学に来る際には必ず見学していただいていることもあり、高校生が見学にくることが圧倒的に多いです。(※昨今の状況により、現在はキャンパス見学を実施していません。) 繊維や被服・衣服と聞くと家政学部のような文系的なイメージを持たれる方も多いと思いますが、この展示室を見学してもらうと、「最先端の技術と関係しているな」とか、「自分が着ているスポーツウェアは最先端の科学技術によって作られているんだ」ということも分かってもらえます。

Q4) 展示の紹介をお願いいたします。(ここでは一部の展示を紹介します)

A) 疾走するファイバー展はいくつかのセクションに分かれています。「循環型社会」のコーナーでは、今SDGsがちょうど話題になっていますが、リサイクルについて紹介しています。衣服のリサイクル・リユース率は、2割程度であり、残り8割はゴミとして処分されると言われています。展示の中では、それを少しでもリサイクル素材を使い環境に配慮する取り組みとしてペットボトルを材料にしたシャツの製品化なども紹介しています。他にも、面白い取り組みとして折り鶴のリサイクルがあります。広島には、平和を祈ってたくさんの折り鶴が送られてくるのですが、それを再利用しレーヨンに加工・製品化(ハンカチやタオル)している事例をこちらで紹介しています。



【折り鶴から作られた製品】

「ナノテクノロジー」のコーナーもあります。「ナノテクノロジー」は非常に小さいものに対する技術という意味ですが、ナノスケール、例えば細胞と同じくらいのサイズのもの的加工する技術でどんなことができるのか、について紹介しています。代表的なもので話題になっているのがマスクです。ナノファイバーという微小な繊維を使ってマスクを作るとPM2.5やウイルスなどの飛散が軽減されるので、フィルターとしての機能も良いですし、柔らかいのが特徴です。また、ゲーム感覚で、3種類の繊維（天然革とポリエステルとエクセーヌ）の中から「天然の革はどれか？」と触って確かめる展示もあります。エクセーヌ繊維の太さは、断面積比で髪の毛の400分の1であり、脂も拭き取れるのでメガネ拭きに加工されたりします。



【エクセーヌで作られた製品を触って確かめるサポクラ取材班】

「極限環境」のコーナーでは、アルミ、CFRP（連続炭素繊維強化プラスチック）、ステンレスの金属サンプルが展示してあり、それぞれ持ち上げて重さを体験することができます。この中のCFRPというのは炭素繊維が材料です。炭素繊維で縦系と横系を作り布状に織ります。これに熱硬化性樹脂を被せて圧縮し固めたものがCFRPで、航空機の機体材料にもなっています。非常に軽いため、燃料の省エネに貢献している材料です。その他にも車のボディなどにも使われています。また消防服の展示もしており、試着もできます。スキーウェアのような触り心地ですが、この素材にも耐熱性、難燃性を持つ繊維であるアラミド繊維や世界最高レベルの引張強度と弾性率が高いPBO繊維といった繊維が使われています。ここではザイロン（PBO繊維の一つ）という生地をはさみで切る体験ができ、その丈夫さを確かめることができます。



【実際に試着できる消防服】

Q 5) 今後展示を新しくするといった予定はありますか？

A) 少しずつ内容を新しくしていきたいという思いもあり、日本化学繊維協会に加盟している企業にも支援をしていただきながら、定期的に展示品を入れ替えています。また、繊維学部の先生方が新たに開発されたものを展示することもあります。

Q 6) 最後にメルマガの読者に向けて一言お願いいたします。

A) 疾走するファイバー展は来館者の方に実際に触れて、五感で感じていただくことができるのが特徴です。頭で考えるだけでなく触ってみて「確かにそうだな」と思える、それが学ぶこと、理解することに繋がると思いますし、自身の印象にも残る体験だと思います。新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きましたら、たくさんの方に来ていただきたいと思います。

<疾走するファイバー展 HP>

<http://www.fii.shinshu-u.ac.jp/fiberexhibition/>



【展示について説明して下さった上條教授】

これまで便利だ快適だと思いつつも、深く考えたことが無かった繊維とその技術の一部について見学できて感動しました。昨今の状況が一刻も早く落ち着いて、学生さんを始め広く一般の方々に来てもらえるようになることを待つばかりです。この度は取材にご協力いただき、ありがとうございました。

信州大学サポーターズクラブ【信州再発見】第 105 号

いよいよ新しい一年が始まりましたね。3月下旬から4月上旬にかけてグンと気温が上昇し、待っていたように一斉に桜が咲き始めました。今回は松本キャンパスに咲く桜をご紹介します。

↓こちらは国道143号線沿いの歩道から撮影しました。この桜は理学部棟から本部棟の間に植えられています。筆者は朝夕ここを歩いて通勤しているので、この桜が咲き始めると「春になったなあ」と感じます。



↓西門入ってすぐ目の前にある経法学部前の桜です。淡い桃色の花びらがとても可愛らしいです。



↓こちらは附属図書館前に植えられている桜です。撮影した日も何人もの学生さんが足を止めて、桜の花に見入って写真を撮っていました。



↓キャンパスの北側にある野球場の側の桜です。七分咲きといったところでしょうか。



↓野球場の側には自然科学館があります。敷地の中でも北の方にあるためか、まだ蕾の状態のものも多かったですが、白い花がとても綺麗でした。



↓こちらは旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫で、現在は登録有形文化財に指定されており、また医学部資料室になっています。キャンパスの北側奥まった所にあるので、桜も満開とはいきませんが、とても可愛らしいですね。



↓こちらは事務局が入る建物の近くに植えられている、タカトオコヒガンザクラです。バックに映っているのは医学部図書館です。

